

市の動向を、タイムリーに掲載します

● 4月からの市の組織改編

市民サービスの向上と効率的な行政運営を図るため、以下のとおり組織を改編します。

【課の再編】

- 企画課と行政経営課を統合して「企画経営課」を設置
- 産業振興課内の企業立地推進室を廃止
- 産業振興課と商業観光課を統合して「商工観光課」を設置
- 市街地整備課の業務を都市計画課などに移管して市街地整備課を廃止

【課の名称変更】

- 公共施設管理課を「公共施設マネジメント推進課」に変更
- 建築審査課を「建築住宅課」に変更

【課などの所属の変更】

- 企画課内の人権推進室を市民相談課に移管
- 公共施設管理課の公共施設の営繕に関する業務を建築住宅課に移管

【担当課長の配置・廃止】

- 企画経営課に「行革推進デジタル戦略担当課長」を新たに配置
- 職員課に「安全衛生担当課長」を新たに配置
- 建築住宅課に「住宅営繕担当課長」を新たに配置
- 市街地整備課の「入曽駅周辺整備担当課長」を廃止

問合せ 行政経営課へ ☎2935-4812

● デフサッカー女子日本代表東海林香那選手に狭山市特別顕彰を授与

1月23日(金)、東京2025デフリンピック競技大会で銀メダルを獲得した東海林香那選手に狭山市特別顕彰を授与しました。これは、特に優れた功績を収め、市民に感銘を与えた方に授与される顕彰です。



この大会を最後に現役を退く東海林選手は「ゴールを決められなかったことだけは悔いが残るが、最後まで全力でやりきることができた」と笑顔で語りました。

問合せ 秘書課へ ☎内線5054

● 茶農家3園が和紅茶コンテストでの受賞と「全国地紅茶サミット」の開催を報告

1月27日(火)、東^{とうぶ}阜横田園、やまとう栗原園、清水園製茶工場^{とうぶ}の3園が市長を表敬訪問し、国内でも権威のある「国産紅茶グランプリ2025」と「プレミアムティコンテスト2025」という和紅茶の2つの大会で金賞などを受賞したことを報告しました。併せて、同3園が中心となって誘致した「全国地紅茶サミット」が9年1月に市内で開催されることも報告し「引き続き和紅茶を盛り上げていきたい」と語りました。



問合せ 農業振興課へ ☎2937-7543



題字・絵 池原 昭治氏

市長の主な動き

〇2/4…埼玉県市長会西部ブロック市長会議、情報交換会 〇2/7…狭山市スポーツ少年団創立55周年記念式典 〇2/8…消防団設立70周年記念式典 〇2/10…定例庁議 〇2/13…特殊詐欺・振り込め詐欺防止啓発活動 〇2/14…第46回社会福祉大会 〇2/17…定例記者会見 〇2/20…市議会第1回定例会

託された未来を守るのは今

日ごとに春を感じるようになってきました。15年前のあの日もそんな日だったと記憶しています。ちょうど、冬の寒さから開放され、桜の開花を待ち遠しく思っていた矢先に起こった東日本大震災はその後の原発事故もあり、このままでは東日本に住めなくなるという危機感を私たちに抱かせました。

一方で、あの時、生まれたこどもたちは世間の大混乱を知る由もなかったでしょう。そんなこどもたちはこの春、15歳となり、中学校の卒業式を迎えます。私たちは、彼ら彼女たち

に今後、起こるであろう大震災にいかにかに備えるべきかを伝えていかなくはなりません。また同時に、あの時最前線で自分の使命を果たそうとした自衛隊、警察、消防、自治体職員、電力会社の方々の責任感、多くの人が家族や友人を必死に守ろうとしたこと、そして壊滅的な被害に遭ったふるさとをもう一度、作り直そうと努力をし続けた人々がいたこと、今の日常が守られているのは誰かの懸命な努力のおかげであることを伝える必要があります。

今、行う努力がいつかきっと、多くの命を救うことにつながると信じて。

狭山市長 小谷野 剛